



Title	HUSCAPレター 第5号 : 拝見します。「初めての論文」: 第2回 有賀早苗 大学院農学研究院・生命科学院教授 / 女性研究者支援室長 'Studies on the Freeze Denaturation of Squid Actomyosin'
Issue Date	2007-02
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/88224
Type	periodical
File Information	hletter5.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学学術成果コレクション

HUSCAPレター



HUSCAPとは

北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP) は、北海道大学の研究者や大学院生などが著した学術論文、学会発表資料、教育資料などを電子ファイルで保存しWebで公開するものです。誰でも、無料で読むことができます。

本紙面に掲載されている文献は、HUSCAPのWebサイトでご覧いただけます。

<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

■ 拝見します。「初めての論文」

第2回 有賀早苗 大学院農学研究院・生命科学院教授
女性研究者支援室長

「意外と面白くて、思わぬ拾い物をするかもしれない」と思って化学の道へ進みました

「初めての論文」は旧姓*で書かれていますね

1980年に上智大学の理工学部化学科を卒業後、修士課程の1年生のときに卒論を英文に書き直したものが「初めての論文」です。スルメイカを冷凍保存するときにグルタミン酸ナトリウムを添加すると、筋タンパクの変性を抑えることができるという内容です。この論文の初稿を見た教授が、「楽しくかわいらしく書けているが、たとえつまらなくても事実を淡々と書くのが論文です」とおっしゃったのが印象に残っています。

ちょうど冷凍食品が普及し始めた頃で、食品分野への応用を考えていました。実験材料のスルメイカは、毎週、築地の魚市場で男衆に圧倒されながら、買ってきました。おかげでイカに種類があることや、産地がさまざまであることも知りましたね。

現在の研究にどのようにつながっていますか

カタツムりを飼うと、餌のキャベツはすぐにカビだらけになるのに、カタツムリの体はカビないのが

子供のころから不思議でした。「初めての論文」を書いた後、アフリカマイマイというカタツムリの生体防御システムに興味をもち、体表粘液に抗菌性があることを突き止めました。それから高等動物の細胞性免疫に関心が広がり、細胞の癌化や分化・増殖の分子機構を研究するようになりました。

なぜ、化学科に進学されたのですか

初めは音楽家になりたくて、ピアノとハープを練習していました。それをあきらめて進学先を考えたとき、「化学実験は一人で器具を揃えてできるものではない。だから大学でやってみようかな」と思いました。実は高校時代、化学はあまり好きではなかったのですが、「大学の勉強はきっと高校とは違う。もしかしたら意外と面白くて、思わぬ拾い物をするかもしれない」、と考えました。純粋に「化学!」と思い詰っていたのではないんです。

北大とは ご縁があったのですね

大学院生のとき教授に連れられて初めて参加

した学会が、函館で行われた水産学会でした。その後、博士課程在籍中に結婚して、学位取得後に単身留学。研究が一段落して帰国するころ、夫の北大赴任が決まりました。札幌は憧れの街だったので、一緒に北大へ来ることを決めたのです。数年



前、北大の函館キャンパスを再訪した際には、かつて学会で訪れたときのことを思い出し、「教授のお導きがあり、またここを訪れることになったのだ」と感慨をおぼえました。

◀「年末の夜遅くまで教授と校正を続けて完成させたのを思い出しました。」

*有賀先生の「初めての論文」は「井口早苗」のお名前が書かれています。

有賀先生の「初めての論文」

Iguchi, S.M.M., Tsuchiya, T., and Matsumoto, J.J. (1981)
Studies on the freeze denaturation of squid actomyosin.
Bulletin of the Japanese Society of Scientific Fisheries, 47, 1499-1506.

HUSCAPのお仲間探訪

Rice University Connexions

米Rice大学の“Connexions”は、教員が無償で提供する教材コンテンツを自由に利用できるようにするプロジェクトです。これを支えるのは、知の広い共有を可能にするクリエイティブ・コモンズ・パブリック・ライセンス(CCPL)という考え方です。

●必要なものを選んで組み合わせた最新の教材

“Connexions”のコンテンツは「モジュール」と呼ばれるユニットで構成されます。モジュールの集合が「コース」と呼ばれる教材で、これには音声や画像も含まれ、Webブラウザ上でインタラクティブに利用できます。今年の1月現在、3678のモジュールと199のコースが開発されています。

また昨年7月より、コンテンツをオンデマンド出版するサービスを開始。学生は最新の教材を、従来の約1/10ほどのコストで入手できます。

●自由に利用でき、更新も可能な「緩い」著作権

CCPLは、著作権保持と放棄の中間の立場を取ることによって、情報の共有を可能にしています。

“Connexions”では、公開されている教材の利用だけでなく、内容の更新や組み換えもできます。また、複数の教員が協同しての教材作成を支援する仕組みもあります。

HUSCAPに収録されている文献の中にもCCPLを公開の条件としているものがあり、複製、頒布、二次利用などが可能です。今後、さらなるコンテンツの充実が期待されます。

Rice University Connexions

URL:<http://cnx.org/>

HUSCAPコレクションの利用について

URL:<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/about.ja.jsp>

編集後記

有賀先生の「初めての論文」はいかがでしたか。困難に直面したときに「負荷を“よかった”と思って活かすことを考えます」という言葉が印象的でした。

HUSCAPレター 第5号 2007年2月発行
発行：北海道大学附属図書館
制作：北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット
(担当受講生：原林滋子・立花浩司)

HUSCAPへの登録方法についてはWebサイトをご覧ください。
北海道大学附属図書館 情報システム課
内線：2564/2524 E-mail：repo@lib.hokudai.ac.jp